



狛江市議会議員

山本あき子

建設・環境常任委員会所属

<http://yamamotoakiko.seikatsusha.me/>

狛江・生活者ネットワーク 議会レポート

No.3

2016年1月15日発行

連絡先：狛江市議会 狛江・生活者ネットワーク
〒201-0003 狛江市和泉本町1-1-5（市役所3階）
電話 03-3430-1171
狛江・生活者ネットワーク事務所
電話 03-3430-1302、FAX03-5761-0678
e-mail:komanet.seikatusya@nifty.com



狛江市議会議員

吉野よしこ

総務・文教常任委員会所属

<http://yoshino.seikatsusha.me/>

狛江・生活者ネットワークは二人で会派を組んでいます。
まちの課題など市政へのご意見をお寄せください。

狛江市議会第4回定例会は2015年
11月24日～12月18日まで開かれました

◆「狛江市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例」に対し、以下の意見を述べ退席しました。

本条例改正はマイナンバーを使って児童手当や児童扶養手当等の給付をするもので、滞ることは望むものではありません。が、初期費用として2700億円、運用に年間300億円など多額の税金が必要で、また個人情報漏洩は国民の一番恐れる事態であり、人的ミスを含め完全に防止することは不可能です。今後のリスクを考えると、マイナンバー制度そのものの必要性には大きな疑問が残る、費用対効果の面などから総合的に考えても将来世代に歓迎される法律とは決して思えません。

◆今年4月オープン予定の市民活動支援センターは、今後3年間にわたり狛江市社会福祉協議会が指定管理者となります。機能や、開館時間が9時～17時などいくつか課題があり、市民にとって活用しやすい施設の運用を求めました。

◆「TPP参加に反対し、情報公開と国会審議の徹底を求める意見書」を提出しましたが、賛成少数で否決されました。

市議会議員 山本あき子の ドキドキ日記

主権在民を問う

12月20日「自治体議員立憲ネットワーク」主催のシンポジウム『地方から参議院選挙を考えるー立憲主義の回復、安保法制の廃止、野党市民連合の可能性』に参加しました。司会は東京・生活者ネットワーク代表の西崎光子さん。パネリストは慶応大学名誉教授小林節さん、弁護士の伊藤真さん、法政大学教授の山口二郎さん、SEALDsの諏訪原健さん、そして辺野古基地問題に揺れる沖縄から県議会議員の仲村未央さん。「今、沖縄で起きていることが皆さんの地域で起きたらと想像してみてください。沖縄ではもう民意は出ついている。その民意が無視され続けている。これが安倍政権の本質」という仲村さんの言葉が胸に突き刺さります。



集団的自衛権行使は違憲と明言した小林節さんと

◆ LGBTとはレズビアン、ゲイ、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（性同一性障害を含む性別越境者）の頭文字を取った総称でありセクシャルマイノリティ（性的少数者）の人々を意味します。

個人のセクシャルティは三つの要素①身体の性、②心の性、③好きになる性の組み合わせによって決まるため、身体と心の性が一致していて異性に惹かれる人（性的多数者）だけが正しいのではなく、多様性が認められるべきです。

◆ アメリカでは2015年6月に連邦最高裁判所の判決により全米で同性婚が合法となりました。これはオランダ、フランスなどに続き21番目となり、欧米諸国では同性婚が合法ということが常識となりつつあります。

◆ 日本ではやっと渋谷区や世田谷区で同性カップルに対しパートナーシップを公的に認める制度が始まりましたが、国としての整備はこれからと言えます。

◆ 今や13人に1人はLGBTと言われながら、自分の周囲には「いない存在」とされたり、E市の市議会議員は自らトランスジェンダーである事を公表して議員になり、LGBTのための施策を数多く実現しました。声をあげられずにいる人たちの声を政策につなげ、異性愛を中心に構築された世界や認識を少しずつ変えていくことが今後望まれています。



多様性を認め合う社会の実現を！

